

## 世田谷村日記

石山修武

二月二六日

梅の花が満開だ。餌付けに成功して鳥が沢山やってくる。うぐいす、めじろ、すずめアト図体のかいムクドリ。それを狙って猫が梅の木に登っていたりで面白い。人間社会と似ているよ。気の弱い鳥は常に遠慮がちで他の鳥が去るのを待っているし、図々しいのは人が間近に近寄ってもエサから離れようとしない。目付きの悪いのもいるし、ホーホケキョと唄えないうぐいすもいる。九時前地下へ。少し色々と考える。今、建築に必要なのは速力だな。十四時過大学。カンボジアの渋井修さん来室。沖縄計画に参加していただくのでその打ち合わせ。渋井さんは三〇年前、つまり日本復帰前の沖縄特に八重山諸島西表島を知り尽くしているようだ。二〇代に六年も住み暮らした体験がある。先日私も訪ねた本島北端の集落奥にも行った事があるという。聞けば当時の過激派の連中が奥を拠点に農業で自立を試みようとしたらしい。渋井さんは赤軍派とは何の関係も無いが、それと知らずに、問われるままに沖縄の事を教えてやったらしい。その連中が奥に集まっていたので会いに行ったらしい。誠に奇異な巡り合わせである。六年住み暮らしただけあって渋井さんは私等よりズーツと沖縄を知っている。今日プノンペンから東京に来て明日早朝に石垣島経由で西表島へ入る予定。その後三月九日に那覇で私と会い、北部、離島の調査に同道していただく予定である。十八時半学芸大学にてオプコード野辺公一、東大松村秀一と会食。久し振りで楽しか

った。石山修武を癒してあげる会だった筈なのだが、そんな内容では全く無かったのが嬉しい。昨年幾たりかの友人を失い私が少し計りめげているのではないかと思いやつてくれたの会だったのだが、友人から同情されて喜ぶ程俺は柔じゃないぜ、まだ。  
二三時過世田谷に戻る。#12オープン・テック・ハウスのモデルを見る。少し何か足りないな。

二月二七日

十時四五分発の便で帯広へ。機中山本哲土さんと同席となる。後藤健市さんも同じ便だった。昼過ぎ帯広空港着。坂本氏迎えてくれて、スノーフィールドカフェ經由帯広市内のソバ屋へ。何人かの人が迎えて下さって同席。スノーフィールドカフェは今のところ仲々の評判のようで安心した。北海道ホテルにチェックイン後、再びスノーフィールドカフェへ。コーヒーと六花亭の菓子をいただく。十六時過六花荘へ。雪原の中に点々とコテージが建てられている六花亭ワールドだ。六花亭オーナーの小田豊さんが雪の林で迎えて下さった。幾つかのコテージを案内していただき、六花荘へ。小田さんはおらかな人で、今輝いているな。周囲にエネルギーを発散させている。風呂に入り、ゆかたに着換えて飲み始め談笑する。小田さんにいささかの案づくりを頼まれた様な気もするが、定かではない。美しいトルコ製の器をいただく。上海からの紹興酒が美味だった。二一時過小宴を終え、北の屋台経由そば屋さんがへ。オヤジの元気な顔を見て北海道ホテルに戻る。二三時前ホテル内のモール温泉にゆつくりとつかり寝る。今日は小田さんに会えて良かった。

二月二八日

三時頃眼ざめてしまい、このメモをつけて又、眠ろうとする。六時に起きてモール温泉に入る。なにしろ体を休ませたい。七時過モール温泉を出て部屋で休む。BBC TVをつけたら、どうやらNYのワールドトレードセンタービル跡地計画のコンペはダニエル・リベスキンドの案が採用されることになったようだ。しかし、これは建てても再びイスラム原理主義者たちに狙われる宿命にあるような気がする。柔らかな朝の光が部屋に指し込んでしばし平穏な時間を過す。今日のスケジュールは全て後藤さん任せだ。

十一時半車でしばらく雪原を走り百鬼なるレストランで昼食。長芋の Pasta とサラダ。食後大樹町晩成温泉へ。海辺にポツリとある町営温泉。十六時ヘレンケラー塔で小休後、スノーフィードカフェへ。フルコースのフランス料理の夕食。内腹も外腹も一杯で体が重い。カフェは地元のおばさん、おじさんで今日も一杯であった。これは本当に盛況なんだと知った。十九時二五分のJASで只今東京に戻る最中。二時半世田谷に戻る。#12のモデルがほぼ出来ていてチェック。このモデルは私の変換点になるかも知れない。

三月一日

十一時四五分大学で若松氏に#12プレゼンテーション。予想通り気に入ってもらえた。投資家たちへの呼びかけを依頼する。十三時博士課程入学希望者面接。私のところにはかねて度々面接していたカナダ国籍の中国人。十五時経営システム、機械の先生方と会合。十七時半田園調布千村君宅。佐藤健からの、マ言ってみればカタミ分けの石の幾たりかをお渡しする。何故佐藤健が千村

君に石を贈ろうと考えていたのかは知る由もない。安藤を核にした「母の家計画」の始めは千村君に口で描いてもらう書の展覧会にする積りなので千村君にその旨を伝える。障害者の可能性を拡張するものにした。ワインをごちそうになる。

三月二日

よく晴れた日で、久し振りの休み。梅の木に今日も沢山の鳥が集まっている。ひよどりとむくどりの区別がつかない。ひろしまハウス・プノンペンにアジア母の家ネットワークの事務局を置く。この三月に連絡事務室の開設準備室を構えてしまおう。

十一時過台湾中原大学の女学生が来宅。今は台北のインテリア・オフィスで働いているが現実とのギャップに悩んでいるようだ。誰もが対面しなくてはならぬ壁だ。